

1. AQUARIUM×ART átoa (アトア) 【三宮・元町エリア】



～世界のどこにもない世界に没入して感じる生命の美しさ～

楽しみながら生きものや自然への興味関心を高め、理解を深める



プログラムスケジュール例

【午前中実施の場合】

09:30～ SDGsの取り組み説明とグループワーク
(別会場)

10:50～ 水族館に移動

11:00～ グループ別に館内関連展示解説後
自由見学

12:00～12:30頃 終了

実施場所：AQUARIUM x ART átoa
神戸市中央区新港町7番2号
実施時間：平日 09:30～17:00の間
所用時間：約2.5時間～3時間（応相談）
実施可能人員：30～150名程度
実施費用：3,600円/人+事務手数料
貸切バス駐車場：なし（回送要）
電車最寄駅：JR三宮駅、阪神・阪急神戸三宮駅
下車徒歩約18分（1.4km）

『アクアリウム、アート、SDGs』

アクアリウムとアートが融合した新感覚の都市型水族館である本施設は、それぞれテーマの異なる8つのゾーンで構成されています。エンターテインメント性が強調されたつくりにも見えますが、SDGsへの取り組みを含めた環境教育要素もさりげなく、しかしたっぷりと詰め込まれています。

「魚よりごみの方が多いい海にしないために」

海ごみは、私たちの日常生活から出るプラスチックなどのごみが海に流れ込み、海洋生態系に深刻な影響を与える問題です。毎年約800万tのプラスチックごみが海に流れ込み、海洋生物が誤って摂取するケースも多発しています。この問題は、私たちの未来の環境と健康に直結しており、早急な対策が求められています。海の未来を変えるため、私たち一人ひとりにできることを、考えていきましょう。

① BLUE CARBON (ブルーカーボン)

地球温暖化を抑えるためには、温室効果ガスのCO2からたくさん貯めこまれたブルーカーボンが重要です。アマモなどの海草は炭素(C)をととても素早く貯めこみ、世界中の浅い海に広く分布していることから注目されています。また、アマモなど海草の群落は海にすむ様々な生きものの産卵場・生育場としても、海の生態系に不可欠な存在。átoaでは来場者にブルーカーボンについて理解を深めてもらうため、館内に壁面アートを展示しています。



② 海ごみ問題について知ろう

海の生きものや私たちの暮らしを大きく脅かす海ごみ。大量の海ごみは一体どこからくるのでしょうか。ポイ捨てや不法投棄のほか、風雨によって川や海に飛ばされてしまったごみ、災害時に出た大量のごみや漁網など、その原因やルートはさまざまです。きれいな海を守るために、私たちが何ができるのでしょうか。まずは海ごみについて知るところから始めましょう。



③ どんな社会人になりたいか考えてみよう

átoaの見学を通じ、環境社会への貢献と観光まちづくり等を学び、将来自分はどうな社会人になりたいかを考えてみましょう。



1. AQUARIUM×ART atoa (アトア) 【三宮・元町エリア】



学習のポイント

- ① 楽しみながら生きもの・自然への関心を高め理解を深める
- ② ブルーカーボン、海ゴミ問題とその対策を知る
- ③ 日々の暮らしの中で「できること」を自ら考える



学習の流れ (モデル)

